

【記者からの質問】

<衆議院選挙関連>

西日本新聞／今回の衆議院選挙の注目点と結果への受け止めを。

知事／自民党が安定多数を取ったことで、現政権が維持される。佐賀県選出の議員は、すべて再選された。国政に県民の声と意思を届けてほしい。佐賀県の代弁者となり、県施策の後押しをお願いする。

西日本新聞／小選挙区の結果に対する受け止めと投票率の低さに対する見解を。

知事／投票率が、地方部と都市部で変わらなかったことに衝撃を受けた。都市型の議員が増え続けることを危惧している。議員定数は、単純に人口で数を割り振るものではない。地方部に政治家がいて、この国家があるのだと主張するため投票率を上げることが、地方にとって大きな課題。佐賀県の投票率は50%台、4割以上が投票していないことを憂慮している。

西日本新聞／県内の2選挙区とも立憲民主党が議席を獲得したことへの受け止めを。

知事／健全な野党があった方がいい。小選挙区制は、健全な政党が2つあり、切磋琢磨することが予定されている制度。佐賀県の場合、両候補者が大変優れ、切磋琢磨している。全国に誇れる選挙区だと思う。

<有明海再生関連 その1>

西日本新聞／10月、福岡高裁が和解に向けた協議を打ち切りにしたことに対する受け止めを。

知事／本当に残念なこと。当初から、原因究明のために開門調査が必要だと思っている。福岡高裁の「裁判での解決はむずかしく、和解によって解決を」ということに私も同感だ。国が応じず、今回打ち切られたことは残念に思う。

西日本新聞／9月議会では、和解協議の実現を求める意見書が可決されている。国に対し、何か要請する考えは？

知事／すでに、国からそのつもりはないと言われている。なかなか道が見いだせないというのが、今の気持ち。

<新幹線西九州(長崎)ルート関連>

西日本新聞／武雄温泉ー長崎間の開業まで1年。開業に向けた機運が見られない。今後、どのように機運を高め、どう生かしていくのか。

知事／新鳥栖ー武雄温泉間の協議を続けているが、乗換方式も含め方向性が定まっていない。

来年のDCキャンペーンの全国宣伝会議が、今月行われる。武雄温泉駅から長崎駅間は、6割以上がトンネルで、短時間で直行できる。

さらに、JRが大村線と長崎本線に新たな特急を走らせる計画を発表した。長崎と佐賀の強みは、伝統や歴史、外国の窓口になって商売をしてきたこと、それに関する観光地も多い。特に、佐賀県はゲームやアニメとのコラボもあり、伝統に裏打ちされた新しい佐賀や長崎を見てもらう機会にしたい。すでに260億円の投資をしており、ぜひとも回収しなければならない。開業に向け、全力で取り組む。

<佐賀市の中核市への移行、保健所設置の検討について>

佐賀新聞／坂井佐賀市長が就任会見で、中核市を目指し保健所業務もやると発言した。これに対する所感を。

知事／山口県政は、それぞれが伸び伸びとやっていただくことを大切にしている。坂井市長が、中核市を目指し取り組むことへの支援はしていきたい。

ただ、保健所業務は、県が県下を一元化して対応しているので、コロナ対応の対策がうまく打っている。これが、佐賀県の長所。コロナ禍で、これを変更することはできない。

今後、検討課題として意見交換をしたい。

<有明海再生関連 その2>

朝日新聞／前回の定例会見での金子農水相に対する知事の発言に対し、金子大臣は、「これまでの大臣が開門しない前提で話をしてきた。なぜ私にはそのような発言なのか分からない」と疑問を呈している。この受け止めを。

知事／金子大臣が、「裁判による決着しかない」と発言されことに対し、話し合いの席についてもらいたいということ。有明海をよくご存じの大臣だから、今までの大臣のような視察ではないと思っている。有明海再生への思いは我々と同じだと。

有明海再生に向けた取り組みが、加速するよう期待している。

<財務省官僚の発言「ばらまき合戦」について>

NHK／財務省矢野事務次官が、新型コロナウイルスの経済対策で、給付金の給付を「ばらまき合戦だ」と批判し、「国家の財政が破綻する可能性がある」と月刊誌で批判している。

この論争についての受け止めと、矢野事務次官の考え方に対する知事の考えを聞きたい。知事／私は、実務に携わってきた官僚が意見を言ってもいいと常々思っていた。

ただ、国民が選んだ政治家が、最終的な判断は責任を持って下すこと。政治家を選ぶ国民への判断材料を、今回のように官僚が説明することはあっていいし、ばらまきを憂慮しているこ

とも理解できる。

諸外国では、地方の施策と増税はセットだという意識がある。日本の場合、手厚い措置の要望が強すぎて、財源との抱き合わせで議論しないといけないという意識が弱い。立派な問題提起をされたと認識している。

<佐賀空港の自衛隊使用要請関連>

西日本新聞／9月議会のオスプレイに関する一般質問で、土地の価格は売買で重要な要素なので、地権者に示すのが交渉のあり方だとの答弁があった。

先日、漁協での協議で、防衛省は公害防止協定を見直す方向性が決まらない限り、土地の価格などの条件は提示できないと発言。これでは、平行線だと感じる。知事の考えを聞きたい。知事／県が調整の労を取りたい。漁業者の皆さんにとって価格は大事なこと。国防も重要。ノリ漁期にもかかわらず、検討を進めてもらっている。協議が進められるよう調整をしていく。

<新型コロナウイルス感染症関連>

共同通信／ワクチンの3回目接種の考え方は？また、予算に関する国への要望は？

知事／3回目接種は、国の厚生科学審議会で、追加接種は必要だと意見が出た。佐賀市と武雄市は、スケジュールも示された。市町と意見交換しながら、2回目接種後8か月をめどに予定を立てていきたい。

予算に関して、知事会では2兆円を要望している。岸田政権では、補正予算が出されると聞いているので、要望していく。